

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2013. 4. 8

下水道機構の『新技術情報』 第87号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

週末の日本列島は爆弾低気圧の通過で大荒れとなりましたね。みなさまのところは大丈夫でしたか。週末と打って変わって今日の関東地方は快晴となり、通勤電車の車窓からは富士山／＼が見えました♪

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第87号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・4/3(水)にWeb版機関誌「下水道機構情報 plus+」第4号を配信しました
- ・3/22(金)にリアルタイム雨水情報技術委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、4/11(木)に第314回技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・「白い恋人」と「面白い恋人」(ペンネーム 大西淀千さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、可愛いマンホールのふたをお届けします

■国からの情報

- ・4月5日付、下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●4/3(水)にWeb版機関誌「下水道機構情報 plus+」第4号を配信しました！

パソコンの設定等によっては、ご覧いただけない場合があります。この場合は、お手数をおかけしますが、次のアドレスにアクセスをしてご覧ください。

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/index.html>

●3/22(金)に平成24年度 第2回リアルタイム雨水情報ネットワーク共同研究委員会を開催しました

本研究は、XバンドMPレーダ情報利活用に関する共同研究であり、XバンドMPレーダ情報を下水道分野において利活用するための基本的な考え方や留意事項等について調査研究を行い、ガイドラインもしくは技術資料にとりまとめるものです。

今回の委員会では、Xバンドレーダの概要をはじめ、データ管理手法や雨水流出解析及びナレッジ解析への適用方法について検討した結果を報告し、技術資料のとりまとめ方法等についてご意見をいただきました。

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

◎4/11(木) 17:00~18:00 場所：下水道機構8階中会議室

第314回技術サロン

ゲスト：東京都下水道局計画調整部計画課長 新谷康之 氏

テーマ：東京都下水道事業 経営計画2013について

※詳細と参加申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●「白い恋人」と「面白い恋人」（ペンネーム 大西淀千さんからの投稿です）

北海道のおみやげとして有名な「白い恋人」をご存知でしょうか。これは商標法で保護された登録商標であり、類似商標を排除できるものです。一方、関西ではこれをパロディ化した「面白い恋人」が販売されています。当然「白い恋人」側は、商標法にもとづいて「面白い恋人」を訴えたのですが、「面白い恋人」は関西限定販売とすることで継続して販売できるという和解がこの2月に成立しました。

実は、商標法は登録商標（ブランド）そのものを保護するのではなく、商標に化体した“業務上の信用”を保護する法律です。そして、「白い恋人」は北海道限定のおみやげで、関西地方において販売していないので、業務上の信用が発生していない関西地方での限定販売は問題ないということなのでしょう。個人的には、なんだか納得できないような内容です。

ちなみに、ここで紹介した商標法は、特許法・実用新案法・意匠法と合わせて知的財産権四法（知財四法）と呼ばれています。下水道の新技術は、貴重な知財でもあります。私も技術と知財の双方のエキスパートとなることを目指して、技術士と弁理士の両資格を取得しました。これからも、皆様の信頼を得るよう努力していきますので、よろしく願い致します。

。○。

まる子の結まーる （皆様との交流の場です）

。○。

●今回は、とある研究員さんが出張先でみつけた「可愛いマンホールのふた」をお届けし
ま

す。さて、どんな図柄なのでしょう？詳しくはこちら→

http://www.jiwet.jp/mailmaga_yuimaru/staff-info/manhole20130408.pdf

※『まる子のゆいまーる』とは？

これは、メルマガを担当させていただきますわたくし『まる子』と沖縄方言の『結(ゆい)
まーる』(助け合い、結びつきを意味します)をかけて、読者の皆さまとの『結びつき』
を

深めていければという気持ちから名づけました。

ですから、このコーナーは皆さまと一緒に作っていくコーナーです。読者の皆さまから
の投稿を心よりお待ちしております！

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等はA 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション (2013. 4. 5 付国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



新年度最初の下水道ホットインフォメーションをお送りします。それぞれの職場に
おかれても新たなメンバーで新年度の業務がスタートしていることと思います。はじ
めましての皆さまもいらっしゃるかと思いますが、上記にありますとおり、広く下水
道に関わるホットな情報を週 1 回、お届けしております。地方公共団体の皆さまをは
じめ、元気な取り組みをたくさんお送りしていきたいと思しますので、皆さま方から
の情報をお寄せいただければ幸いです。

今朝、NHKのニュース番組を見ていましたら、生活の中で季節を伝える動物(ツ
バメ、トノサマガエル、・・・)の姿が減っているとの話が出ていました。一方で、
増えているという動物の紹介もあり、カワセミなどがその例だそうです。下水道が普
及して良好な水環境が回復していることなどの紹介がありました。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○下水道施設の運営における PPP/PFI の活用に関する検討会議事概要等について

【下水道企画課】

○国土交通省と埼玉県による段階的高度処理の実証実験について【流域管理官】

●鳥取市がリン回収施設を稼働【鳥取県】

●「災害復旧支援マニュアル説明会」を開催します。【日本下水道管路管理業協会】

=====

○下水道施設の運営における PPP/PFI の活用に関する検討会議事概要等について

【下水道企画課】

3月21日に開催された、第4回検討会の議事概要及び検討会資料をホームページに掲載したのでお知らせします。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000258.html

○国土交通省と埼玉県による段階的高度処理の実証実験について【流域管理官】

平成25年夏季から冬季（予定）に国土交通省と埼玉県の共同で段階的高度処理導入のための実証実験を実施しますのでお知らせします。

今回実証実験を実施する段階的高度処理は、東京湾の水環境改善のため、通常の下処理施設の運転方法を工夫することによって、一定の窒素、リン除去を実証しようとするものです。段階的高度処理の推進によって、下水処理水質をより向上し、河川や東京湾の水環境が改善することを期待しています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000197.html

●鳥取市がリン回収施設を稼働【鳥取県】

（以前、ご紹介がありましたが、NHK鳥取放送局のニュース（4月3日）で放映されたとのことで、情報提供いただきました。）

<報道内容>

鳥取市は、下水道処理で生じた汚泥を燃やした灰から、肥料の原料となるリンを回収する施設を市内に設け、4月から稼働させています。リンは肥料に使われる元素で、国内で産出しないことから中国など外国からの輸入に頼っています。鳥取市では、下水道の汚泥を燃やした灰に含まれるリンの割合がほかの都市に比べて多いことから、岐阜市などが成功させた灰からリンを回収する技術を導入しました。リンの回収施設は、4月から市内の秋里地区で稼働していて、回収されたリンは、農業団体を通して肥料会社が買い取るということです。市によりますと、下水道の汚泥を燃やした灰は、これまで、県外の処理場に埋めるしかなく、年間1750万円ほどの処理費用がかかっていました。リンを回収して販売するなどすることで、およそ1000万円の経費削減につながるということです。鳥取市下水道企画課の馬場睦雄課長は、「コスト削減だけでなく、循環型社会の実現にもつながる取り組みにしていきたい」と話しています。

●「災害復旧支援マニュアル説明会」を開催します。【日本下水道管路管理業協会】

（先週号でお知らせしていますが、記事、4月15日の開催都市名に誤りがあったと

のことですので、改めて掲載します。)

東日本大地震を踏まえて「下水道管路施設災害復旧支援マニュアル」の改訂版の刊行を機に災害時の下水道管路施設の被災調査についての理解を深めることを目的に当協会の災害支援体制および被災調査の方法について4月15日(静岡)から6月21日まで全国12都市で説明会を開催します。

内容、申込方法等詳細はホームページ(下記URL)をご覧ください。

・問い合わせ: 日本下水道管路管理業協会 内藤 (03-3865-3575)

<http://www.jascoma.com/jigyo/index-gyoji.html>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「老朽化した埋設カルバートの復旧に関する研究報告会」(既設および更生管きよの力学挙動と設計に関する技術資料の技術説明会)の開催について【地盤工学会】(4月18日開催)

http://www.jiban.or.jp/index.php?option=com_content&view=article&id=1395&Itemid=78

→2月22日掲載

=====

【参考情報】

◆太陽光とバイオガスでW発電 神戸市、民間と共同 <3/26 神戸新聞>

<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201303/0005847659.shtml>

◆都:液状化で無料相談窓口 専門家がアドバイス、対策手引きも作成 5月開設
/東京 <3/29 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/tokyo/news/20130329ddlk13010143000c.html>

◆地下街に水防組織義務化 「さんちか」など避難計画策定 <3/30 神戸新聞>

<http://www.kobe-np.co.jp/news/bousai/201303/0005859892.shtml>

◆新川西部流域下水道供用開始で通水式 愛知 <3/31 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20130331/CK2013033102000042.html>

◆電源開発・九州電力など、下水汚泥を固形燃料にして発電に使う事業を熊本市で開始 <4/1 EIC ネット>

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=29667&oversea=0>

◆太平洋セメ、下水のリンを回収し肥料化する事業を本格展開 <4/3 日刊工業新聞>

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0520130403cbau.html?news-t0403>

◆放射性物質含む焼却灰の処理推進へ、藤沢市が希釈施設を新設へ/神奈川 <4/3 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1304030010/>

◆年間6400万円の導入効果、下水処理場のバイオマス発電 <4/3 ITmedia>

<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1304/03/news012.html>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/seikai3.pdf>
